

# 日本初の全国地図PR

## 高萩の 赤水顕彰会 原寸大レプリカ発行



高萩市出身で江戸時代の地理学者、長久保赤水（1717～1801年）が日本で初めて全国地図を作製した業績をPRしようと、長久保赤水顕彰会（佐川春久会長）は、地図の原寸大レプリカを発行した。江戸時代、日常的に使われていた地図でもあり、歴史ファ

ンなどの注目を広く集めそうだ。レプリカは「改正日本輿地路程全図」（赤水図）の第二版を写したものだ。二版は赤水75歳の1791（寛政3）年、集大成として作製。初版で4200カ所だった地名が二版では6千カ所になるなど、情報

量が飛躍的に増えている。

10里（約40キ）を1寸（約3セ）としており、129

「赤水図」の原寸大レプリカをPRする長久保赤水顕彰会のメンバー＝高萩市大能

万6千分の1の縮図。国境や関所、城下町、名所など10種類の記号が使われている。

大きさは縦84・6セ、横128・8セ。10回折りし、江戸時代と同じデザインののし袋に入れて販売する。価格は千円（税抜き）。

赤水は現在の高萩市赤浜の農家に生まれ、儒学や天文学、地理学などを学んだ。赤水図の編集に当たって官製地図や地誌といった多くの資料を研究、旅人や知人の話も参考にしながら、20年以上の歳月をかけ1779（安永8）年に初版を完成した。

日本の地図としては初めて経緯線と緯度の数値を記載したことが先駆的で、地図作製で歴史的に有名な伊能忠敬より42年早い業績。江戸時代、一般庶民も赤水図を日常的に使っていたという。

同会の佐川春久会長は「地図に天文学の知識を入れたほか、どつすれば受け手に分かりやすいか工夫しているところにも着目してほしい。高萩の特産品に

していれば」と話している。

同市高萩の市歴史民俗資料館で販売するほか、郵送でも対応する。購入の申し込み・問い合わせは佐川会長 ☎090（1846）6849、または同会ホームページ [nagakuboseki's.jp/org](http://nagakuboseki's.jp/org)

（小原瑛平）



クロスアイ  
HPに動画

